

Project	地域協働専攻 地域政策グループ
	<b>地域のニーズをもとにした課題解決</b> <b>およびその担い手育成プロジェクト</b>
B05	
メンバー	[学 生] 塚田 悠永/三浦 諒大/北村 梨紗/畑井 大樹/後藤 月花/及川 心寧/ 篠崎 愛華/加藤 碧 [担当教員] 齋藤 征人

**【背景】**

①少子化や他地域への転出が原因で人口減少がすすむ北斗市の現状。

②北斗市ではいさりび鉄道や函館バスのほかに、独自に「巡回ワゴン」が運行しているが、知名度が低く市民の間で公共交通の有効活用がされていないという現状の改善。

**【目的】**

①北斗市の転出人口を減らすため、地域住民をターゲットに北斗市の魅力を伝え愛着を持ってもらい、定住を促進することを目的とする。

②主に高齢者世代に対して、公共交通機関を買い物等の「生活の足」として有意義な利用を促す。

**【概要】**

学生が2グループに分かれ、北斗市民を対象とした公共交通機関を利用したツアーを実施する。

**①子どもと高齢者の多世代交流ツアー**

レクリエーションやコミュニティカフェを通して、北斗市民の多世代間の交流を図り、人と人とのつながりで北斗市の魅力再発見に繋げる。

**②北斗ローカルフードツアー**

地元の人たちが食を通して、「何もない町」ではなく、「おいしい食材がたくさんある魅力的な町」と捉えられるようにする。

**【前期】**

北斗市の地域課題やニーズを学び、その中でも公共交通機関の利用率の低さと北斗市の人口流出問題に着目し、実際に北斗市のフィールドワークを通して具体的なプロジェクト案を考案した。

**【後期】**

多世代交流ツアー班の活動が主である。理由としてローカルフードツアー班のツアー実施が今年中に実現することが難しいと判断したためである。今年度はこのツアーの準備段階とし、次年度以降に季節などを鑑みて実施することを決定した。代替案として10月に北斗市の小学生を対象とした市主催の「公共交通機関ツアー」にローカルフードツアー班の三名が助手として参加し実際のツアーの動きを確認した。

多世代交流ツアー班はルートの変更などがありながらも会合を重ね、ツアーの実施に踏み切ることができた。チラシを作成し小学校に配布して応募を募るなどしたが参加者を集めることができなかった。そのため、もう一班の三人を参加者と想定して試験的にツアーを実施した。そこで得られた反省などを全体で共有し、実施した側と参加者側との間で意見交換を活発に行うことができた。



## 【総括と反省・今後の課題】

多世代交流ツアー一班に関しては、開催時期や募集期間が限られており、ローカルフードツアー一班では、農作物の収穫の時期や料理を提供していただく提携先のお店との兼ね合いが難しく、当初予定していた北斗市民の方を交えたツアーは行うことはできなかった。しかし、学生内で「実証実験」という形で次回以降の実施に向けたシミュレーションを行えたことは、北斗市の資源とその魅力の捉えなおしや、公共交通機関の課題点を肌で感じる良い機会であったことは間違いない。また、北斗市役所の方からの講評にもあったように、ツアーにおける構成や様々な年齢の方が参加することを想定し、そのための配慮や工夫などの改善点を発見することができた。

今回のプロジェクトを通して、学生が1つの地域を考えたことで地域の活性化に微力ながら貢献できたと思うが、それを実際に市民の方に発信し、地域の愛着や公共交通機関の利用促進などに影響を与えるステップを踏むために次年度以降に繋げていきたい。

### ①多世代交流ツアー

#### 1. 開催日時・場所

##### (1)開催日時

2023年11月18日(土) 10時00分～14時38分

##### (2)場所

北斗市周辺

#### 2. 開催内容

公共交通機関を活用し、地域の若者と高齢者の交流を図るとともに、地域に愛着を持ってもらうことを目的としたツアーの実施。

※今年度は「実証実験」という形でシミュレーションを行った。

#### 3. 主な活動内容

- ・地域のヨガスタジオでのレクリエーション
- ・コミュニティカフェでの昼食、上磯駅前商店街でのクイズラリー

#### 4. 開催に対する評価

##### (1)自己評価

運営にあたって、台本の読み合わせ不足や内容の不備が生じた。台本を作成する際に入念に作成する必要がある。

##### (2)北斗市役所企画課 赤坂さんによる評価

しおりやチラシなど作成物が上手に作られていた。ツアーについては今後の改善点が見えたことで来年の実施に活かしていきたい。

### ②ローカルフードツアー（以下想定）

#### 1. 開催日時・場所

##### (1)開催日時

未定(いずれかの土日祝日を予定)

##### (2)場所

あぐりへい屋(JA新はこだて)、Pokke dish

#### 2. 開催内容

生産者にあぐりへい屋に講師として招待し、

実際に野菜を見ながら説明をして頂いた後、Pokke dishに移動して説明に出てきた食材などを使用した料理を食べ、北斗市の食材の魅力とその生産者について知ってもらう。

#### 3. 主な活動内容

- ・あぐりへい屋での生産者の講演
- ・Pokke dishでの昼食、食育活動

### 【年間スケジュール】

2023年度 4～5月	地域プロジェクト発足 北斗市役所から北斗市の概要や課題を聞く
6月	北斗市でフィールドワークを行い、観光地を巡る プロジェクトの内容決定・各班に分かれ具体的なルートを決める→北斗市と共有
8～9月	プロジェクトの実現に向けて、オンラインで北斗市と打ち合わせ
10月	多世代交流ツアー募集開始、公共交通モニターツアー実施
11月	多世代交流ツアーをモニター形式で実施
12～1月	成果報告会準備
2月	成果報告会

### 【謝辞】

本プロジェクトにご協力いただいた北斗市役所の方々、スタジオサロン Econa7の方、コミュニティカフェはあと&けやきの方々に感謝申し上げます。有難うございました。

